

スカパーJSATグループ 2016年度 3Q決算説明会

2017年2月2日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第3四半期連結決算概要

第3四半期損益概要

■ 前年同四半期比、減収減益。

(単位:百万円)

	FY2015 3Q累計	FY2016 3Q累計	増減率	通期予想 進捗率	FY2016 通期予想
営業収益	123,466	118,124	△4.3%	60.6%	195,000
営業利益	18,560	15,530	△16.3%	74.0%	21,000
経常利益	18,554	15,870	△14.5%	77.4%	20,500
親会社株主に帰属 する四半期純利益	12,134	10,283	△15.3%	79.1%	13,000
EBITDA ^{*1}	35,928	32,507	△9.5%	73.5%	44,200

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2015年度 1Q ~ 2016年度 3Q)

- 有料多チャンネル事業：前年同四半期比、プレミアムサービス加入者減少・加入者獲得費用増加により減収減益
- 宇宙・衛星事業：前年同四半期比、海外売上減少・減価償却費増により減収減益

(単位:百万円)

	2015年度					2016年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q
営業収益	41,122	40,633	41,710	39,438	162,905	39,707	39,610	38,806
有料多チャンネル事業	30,904	30,636	29,690	29,184	120,415	30,095	29,882	29,130
宇宙・衛星事業	13,320	13,098	14,992	13,187	54,599	12,626	12,718	12,580
消去又は全社	△3,102	△3,101	△2,972	△2,932	△12,109	△3,013	△2,990	△2,905
営業利益	5,855	5,015	7,689	5,650	24,210	6,266	4,795	4,468
有料多チャンネル事業	1,307	772	3,087	1,074	6,241	1,861	1,023	1,135
宇宙・衛星事業	4,714	4,407	4,752	4,738	18,611	4,585	3,937	3,488
消去又は全社	△166	△164	△150	△162	△643	△180	△165	△155

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2015 3Q累計	FY2016 3Q累計	FY2016 通期目標
新規加入件数(万件)	32.1	26.0	43.0
純増数(万件)	△3.2	△13.4	2.0
累計加入件数(万件)	343.0	334.8	350.2
加入者月額支払単価(¥)	3,356	3,317	-
ARPU(¥)	2,209	2,153	-
SAC単価(¥)	33,411	39,722	-

*スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

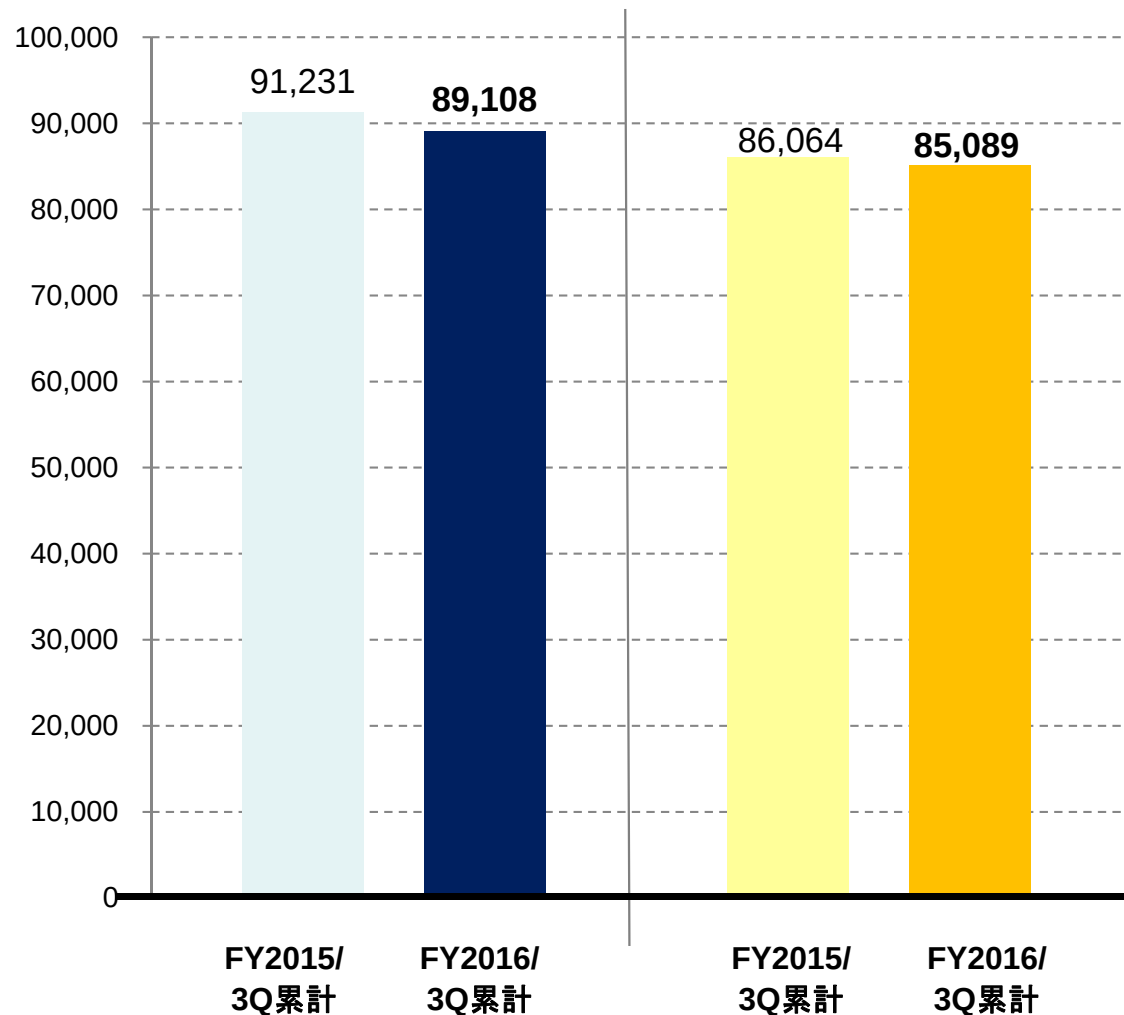
有料多チャンネル事業の業績概況：前年同期比

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲21.2億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- スカパー！業務手数料収入増加：+6億円
- プレミアム視聴料収入の減少：△20億円
- レンタル収入等その他の減少：△7億円

営業費用(▲9.7億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- プレミアム番組供給料の減少：△9億円
- 広告宣伝費の減少：△3億円
- 減価償却費の減少：△3億円
- パラリンピック等コンテンツ費用の増加：+7億円
- その他費用の減少：△2億円

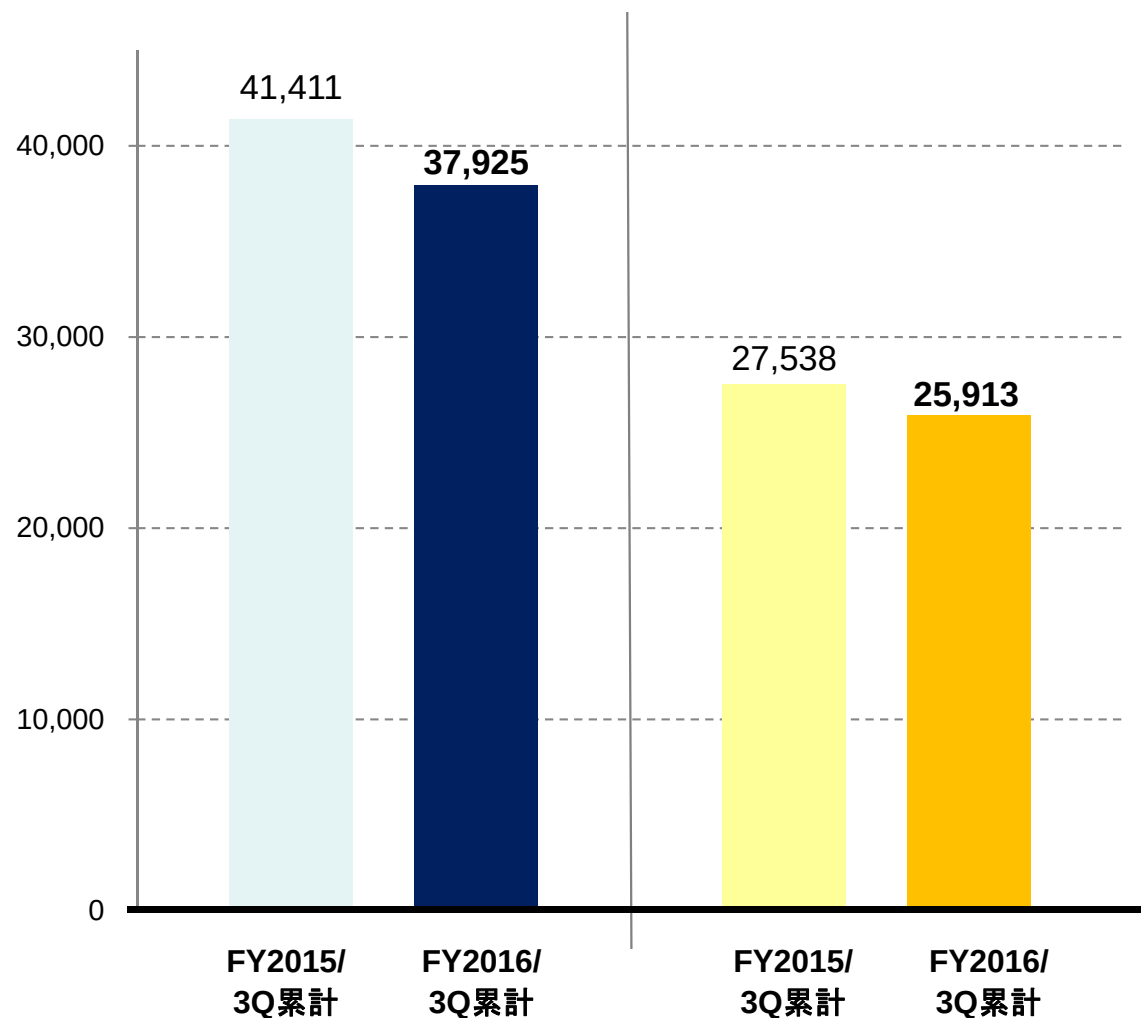
宇宙・衛星事業の業績概況：前年同期比

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲34.8億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 災害対策用ネットワーク管制局設備の販売の剥落 : $\Delta 20$ 億円
- 海外顧客の売上減少 : $\Delta 15$ 億円
- 小型地球局による通信サービス収入の増加 : $+2$ 億円
- その他の減少 : $\Delta 2$ 億円

営業費用(▲16.2億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 衛星減価償却費の増加 : $+4$ 億円
- 衛星事業原価等の減少 : $\Delta 20$ 億円

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

コンテンツの差別化

■4K中継車

- ✓【4K生中継】バドミントン S/Jリーグ 2016 最終戦 東京大会(スカパー！4K総合・2/12放送)にて稼動開始
- ✓2月28日～3月5日ワールドベースボールクラシック(WBC)前の壮行・強化試合を4KHDR制作にて運用予定
(「WBC2017」は、JSPORTS1+2+3+4にて全試合生中継)



©(公財)日本バドミントン協会



■スポーツ



写真:AFP/アフロ

- ✓ UEFA CHAMPIONS LEAGUE 16/17 決勝トーナメント(スカチャン・2/15放送)



©金子博

- ✓ F1グランプリ完全生中継(TV独占)
(フジテレビNEXT・3/24放送)

■音楽



©DCT entertainment, Inc.

- ✓ Dreams Come True
裏ドリワンダーランド 2016
(BSスカパー！・3月放送)



- ✓ 樺坂46 初ワンマンライブ
in 有明コロシアム
(テレ朝チャンネル1・3/26放送)

サッカーセット改編

■2月1日「スカパー！サッカーセット」が誕生

- ✓ 概要: UEFAチャンピオンズリーグ・ヨーロッパリーグ、セリエA、W杯欧州予選に加えて、ルヴァンカップや天皇杯、ユース・育成年代などの国内サッカーが見られる新しいサッカーセット！
- ✓ 料金: 2,980円/月(税込)
- ✓ 販売開始: 2017年2月1日



写真: 松岡健三郎／アフロ

■「スカサカ！」新生開局！

- ✓ 概要: 24時間サッカー専門チャンネル。国内から海外までの試合中継・ハイライト番組はもちろん、スカパー！解説陣による討論番組や「Jリーグラボ」、「Jのミライ」などこだわりをもったオリジナル番組を多数放送予定！
- ✓ チャンネル: スカパー！CS800/プレミアムサービスCh.580
- ✓ 視聴方法: スカパー！サッカーセット
- ✓ 新生開局日時: 2月4日(土)20:00



放送高度化(4K)

■ 110度4K放送認定の状況

- ✓ 左旋円偏波8チャンネル分の認定(全19チャンネル中 8チャンネル)

総務省HP「BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定に係る電波監理審議会からの答申」より抜粋

No	申請者	番組名	スロット数等※
1	(株)スカパー・ エンターテイメント	スカチャン4K 1	60 スロット、4K
2		スカチャン4K 2	60 スロット、4K
3		スカチャン4K 3	60 スロット、4K
4		スカチャン4K 4	60 スロット、4K
5		スカチャン4K 5	60 スロット、4K
6		スカチャン4K 6	60 スロット、4K
7		スカチャン4K 7	60 スロット、4K
8		スカチャン4K 8	60 スロット、4K

※ 1トランスポンダあたり120スロットにつき、60スロットは1/2トランスポンダに相当。

■ 今後の取り組み

- ✓ 4K・8K対応スカパー！マルチアンテナ販売開始(2017年4月)
- ✓ 2018年12月CS左旋にて4K放送開始(予定)



WAKUWAKU JAPANの取り組み

- 12月からベトナムで放送開始！2月からモンゴルで放送開始決定！
計8つの国と地域、965万世帯で視聴可能に！

2016年12月放送開始



ベトナム



VIETNAM TELEVISION CABLE CORPORATION

タイムブロックにて放送
(毎日計3時間)



2017年2月放送開始決定



モンゴル



Univision



DDish TV

- オリジナル新番組を11月から放送開始

- ✓ 総務省 放送コンテンツ海外展開総合支援事業「Catch Your Dream! -Study in JAPAN-」



- 日本のプレミアムな旅を紹介

- ✓ 「日本“通”人(にほんつうじん)」



今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

打ち上げ予定衛星一覧

■ 衛星打ち上げ最新状況

(変更箇所: 赤字部分)

	JCSAT-14(2B)	JCSAT-16	JCSAT-15
衛星バス	SSL1300	SSL1300	SSL1300
製造メーカー	Space Systems/Loral	Space Systems/Loral	Space Systems/Loral
ロケット	Falcon9	Falcon9	Ariane5
打上時期	2016年5月6日打ち上げ成功	2016年8月14日打ち上げ成功	2016年12月22日打ち上げ成功
軌道位置	東経154度	東経162度	東経110度
目的	JCSAT-2A後継(国内・海外・モバイル)	軌道上予備衛星 2016年12月末でSB-B2から顧客移行完了	N-SAT-110後継(有料多ch・モバイル) 左旋による4K放送に加え、新たに搭載された SIORビームによるモバイル利用を想定

	防衛省PFI事業 2号機	防衛省PFI事業 1号機	Superbird-8
衛星バス	DS2000	DS2000	DS2000
製造メーカー	三菱電機	三菱電機	三菱電機
ロケット	H-ⅡA	Ariane5	Ariane5
打上時期	2017年1月24日打ち上げ成功	2018年3月から9月に打ち上げ予定	2018年3月から9月に打ち上げ予定
軌道位置	-	-	東経162度
目的	防衛省PFI事業用衛星	防衛省PFI事業用衛星	Superbird-B2後継機 (国内)

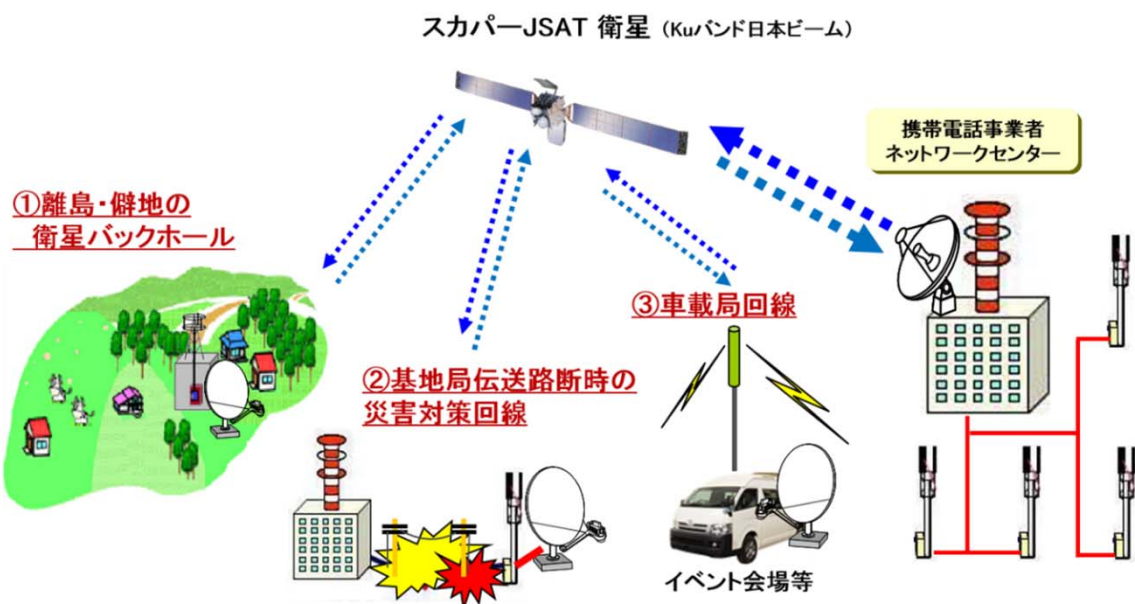
国内市場への取組み

■ 国内携帯キャリアによる急速なLTE普及への対応

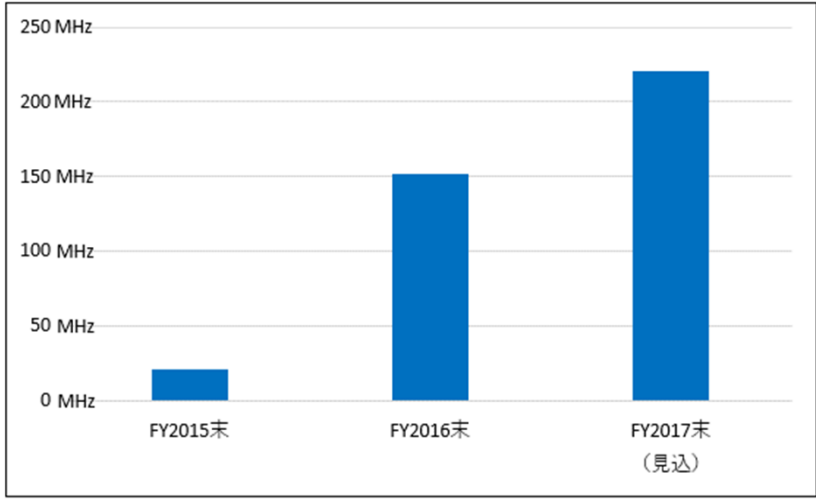
✓ 高速通信に対応した衛星ソリューションの展開によりLTE基地局のバックホール回線※向け利用を拡大

※携帯電話基地局とネットワークセンター（基幹網）とを結ぶ回線。

- ①不感地帯解消のためエリア拡張での利用
→ 島嶼や山間部での利用が増加。
- ②災害対策用回線としての利用
→ 大規模災害時でも、高速かつ安定したネットワークを実現。
- ③車載局回線向け利用
→ スマートフォンの普及による局地的なデータ通信需要への利用が増加。



【携帯向けバックホール衛星回線帯域推移】

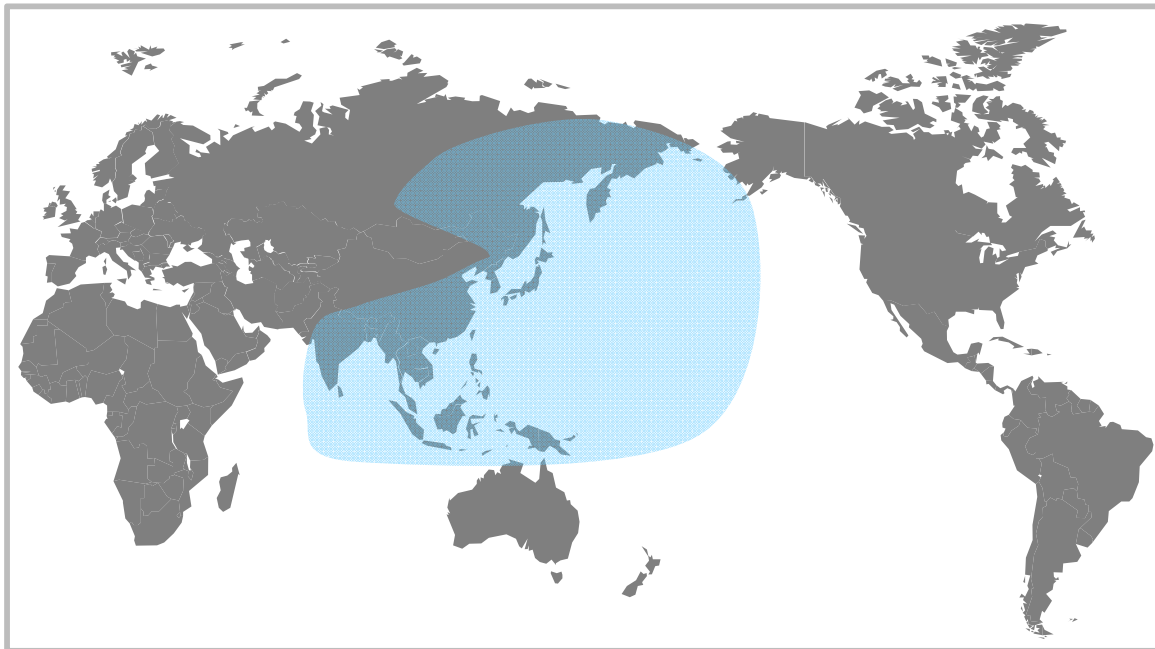


グローバル・モバイル市場への取組み①

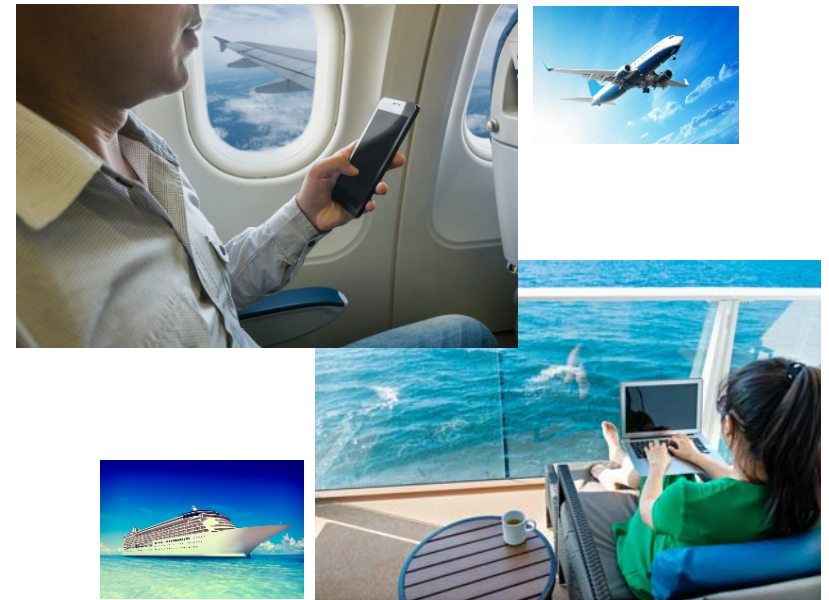
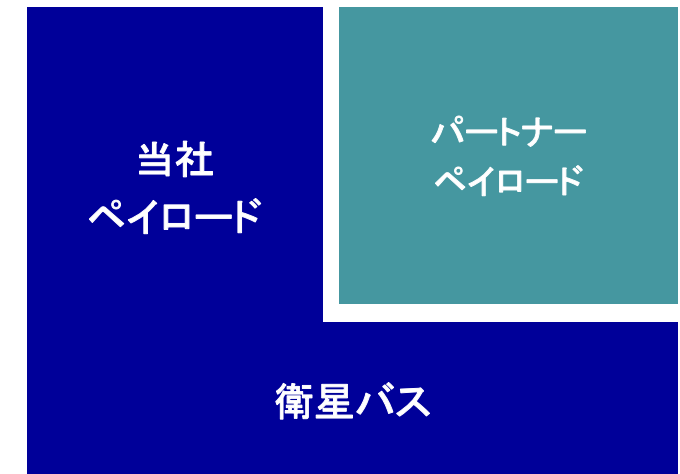
■ JCSAT-18の調達決定

- ✓ Horizons 3eに続く、2機目のHTS ※。
- ✓ アジア太平洋から極東ロシアまでを広くカバーし急拡大するモバイル、ブロードバンド、官公庁需要に対応。
- ✓ 海外オペレータとの共同衛星。
- ✓ 打ち上げ予定時期は、2019年下期。

【カバレッジイメージ】



【区分所有イメージ】

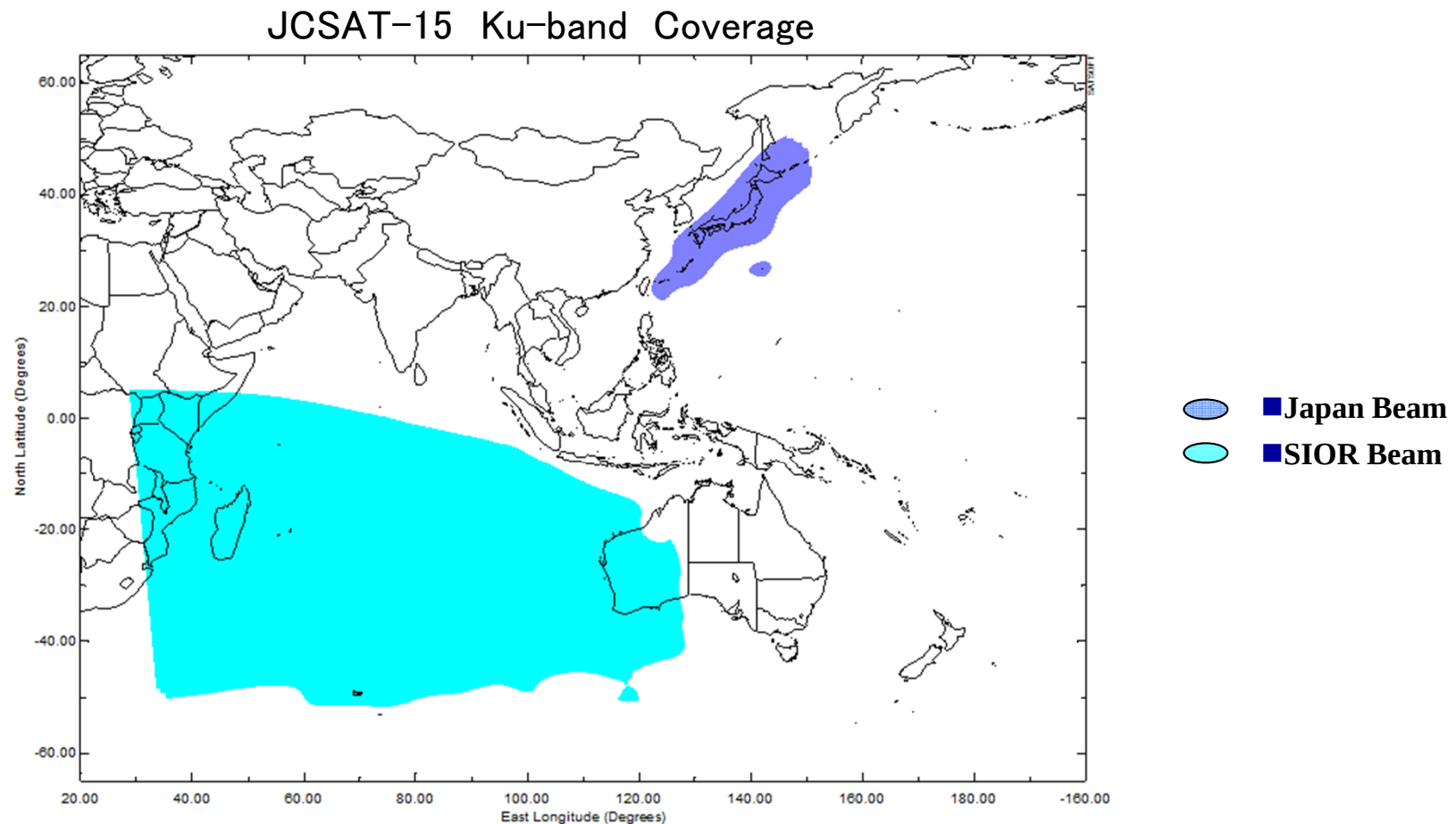


※ High Throughput Satelliteの略。複数のスポットビームにより離れたビームで同じ周波数を繰り返し利用することで従来型衛星と比べ通信容量を大幅に増大させた衛星

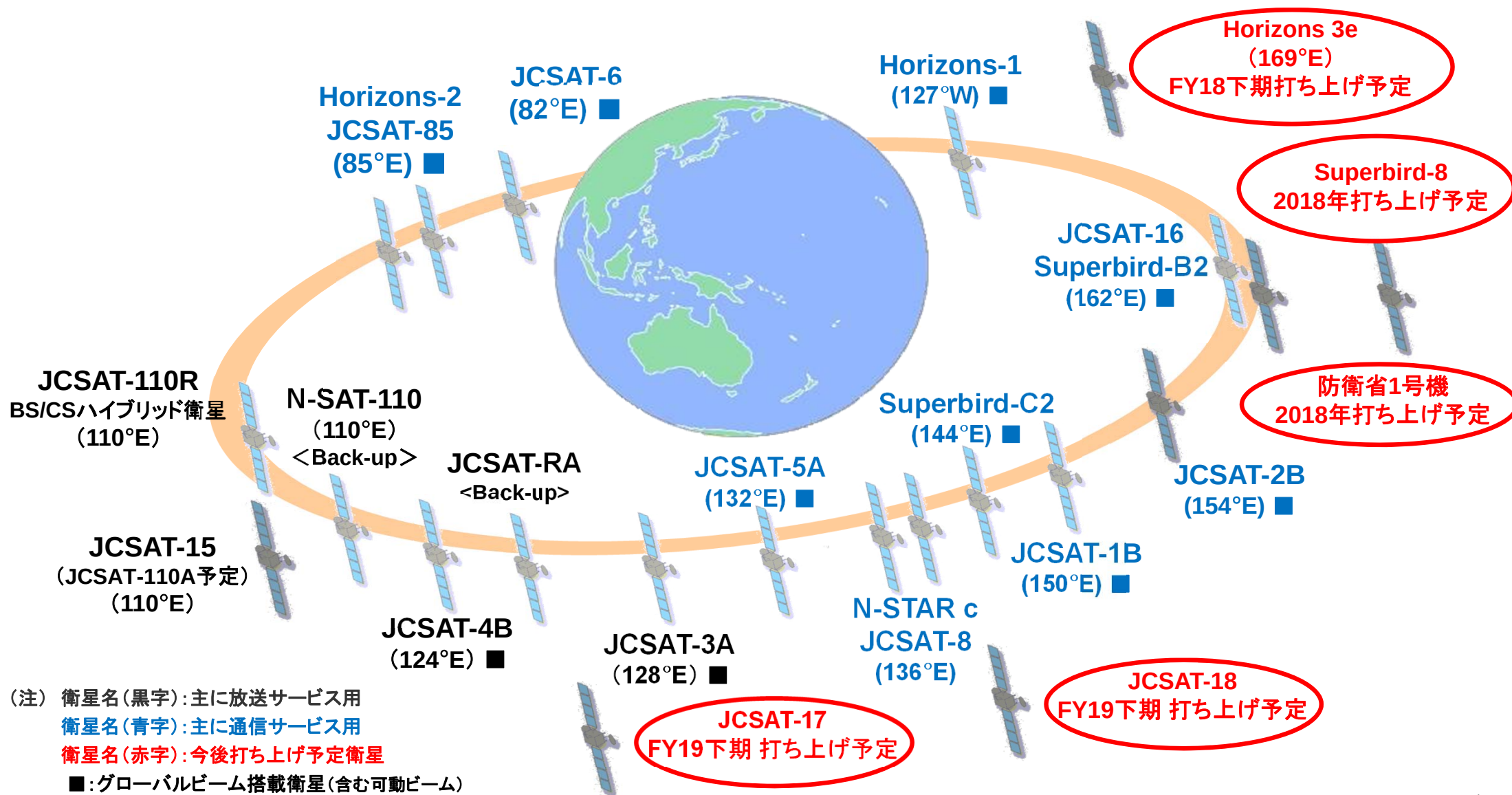
グローバル・モバイル市場への取組み②

■ JCSAT-15(軌道上名称:JCSAT-110A)による、サービスエリア拡大

- ✓ JCSAT-15は、新たに搭載された南インド洋ビーム (SIOR: South Indian Ocean Region)はオーストラリア大陸西部から、アフリカ大陸の東海岸までカバーし OceanBBサービス及び航空機向けの提供エリアを拡大。



北米上空からインド洋上空まで計18機の衛星を保有

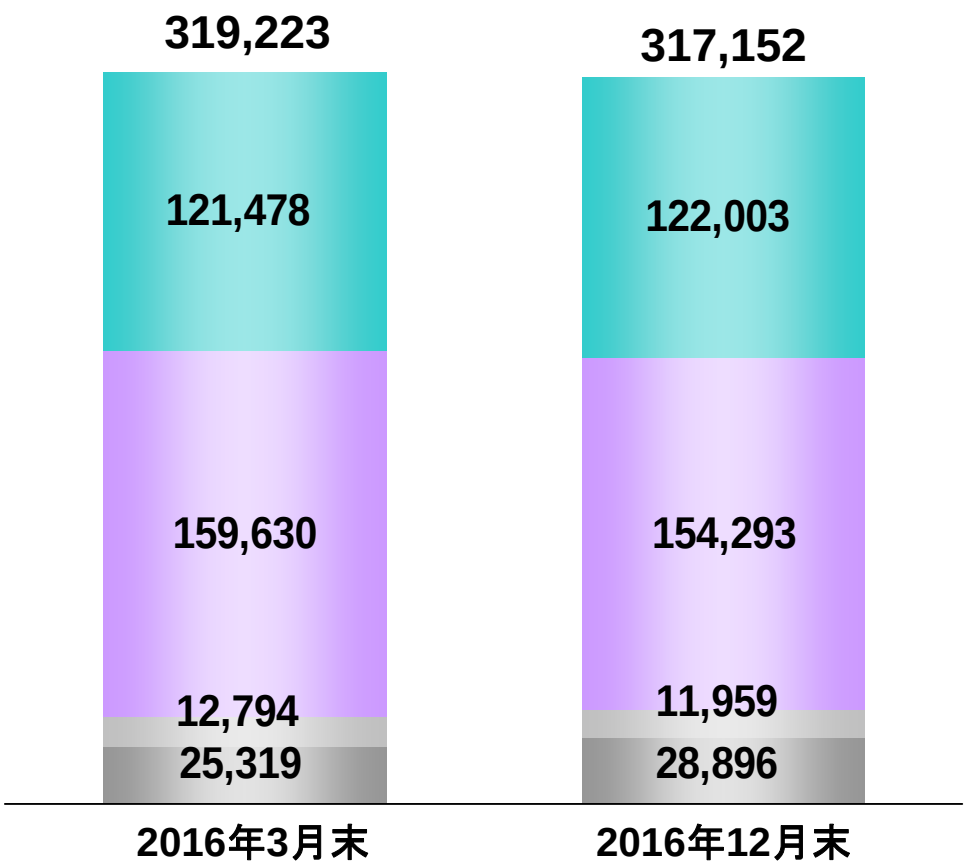


(参考資料)

連結貸借対照表

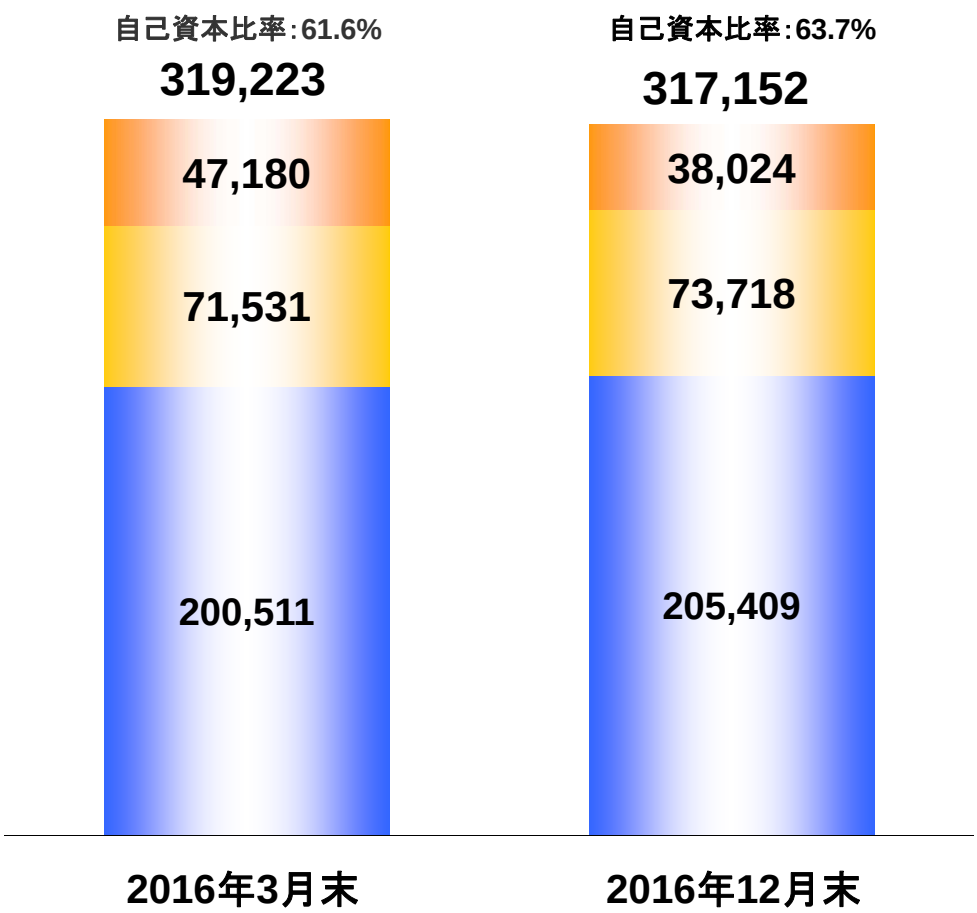
資 産

(単位: 百万円)



負債・純資産

(単位: 百万円)



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

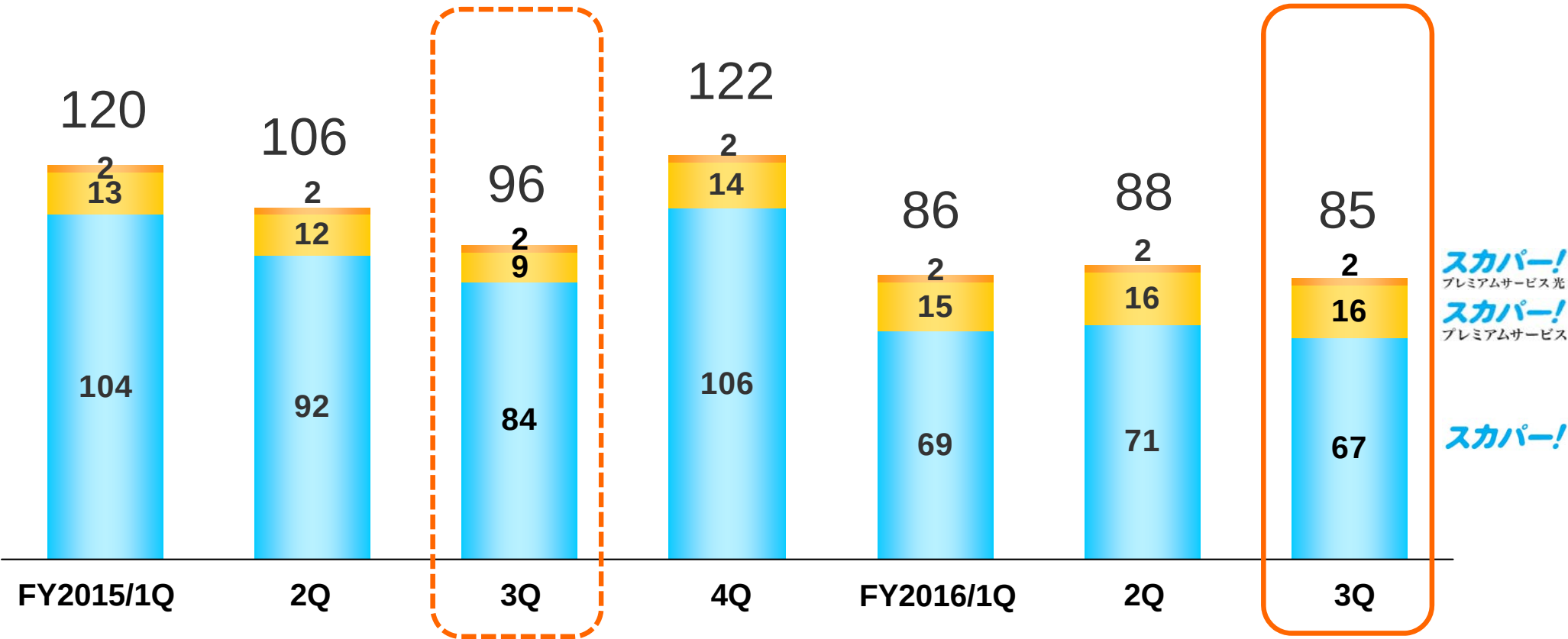
	FY2014/3Q 累計	FY2015/3Q 累計	FY2016/3Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,622	23,346	7,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,293	△20,737	△16,965
フリー・キャッシュフロー (*1)	△6,670	2,609	△9,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,623	16,194	△1,655
現金及び現金同等物の期末残高(a)	40,583	52,740	37,318
有利子負債期末残高 (*2) (b)	33,709	61,721	67,615
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△6,874	8,981	30,296

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

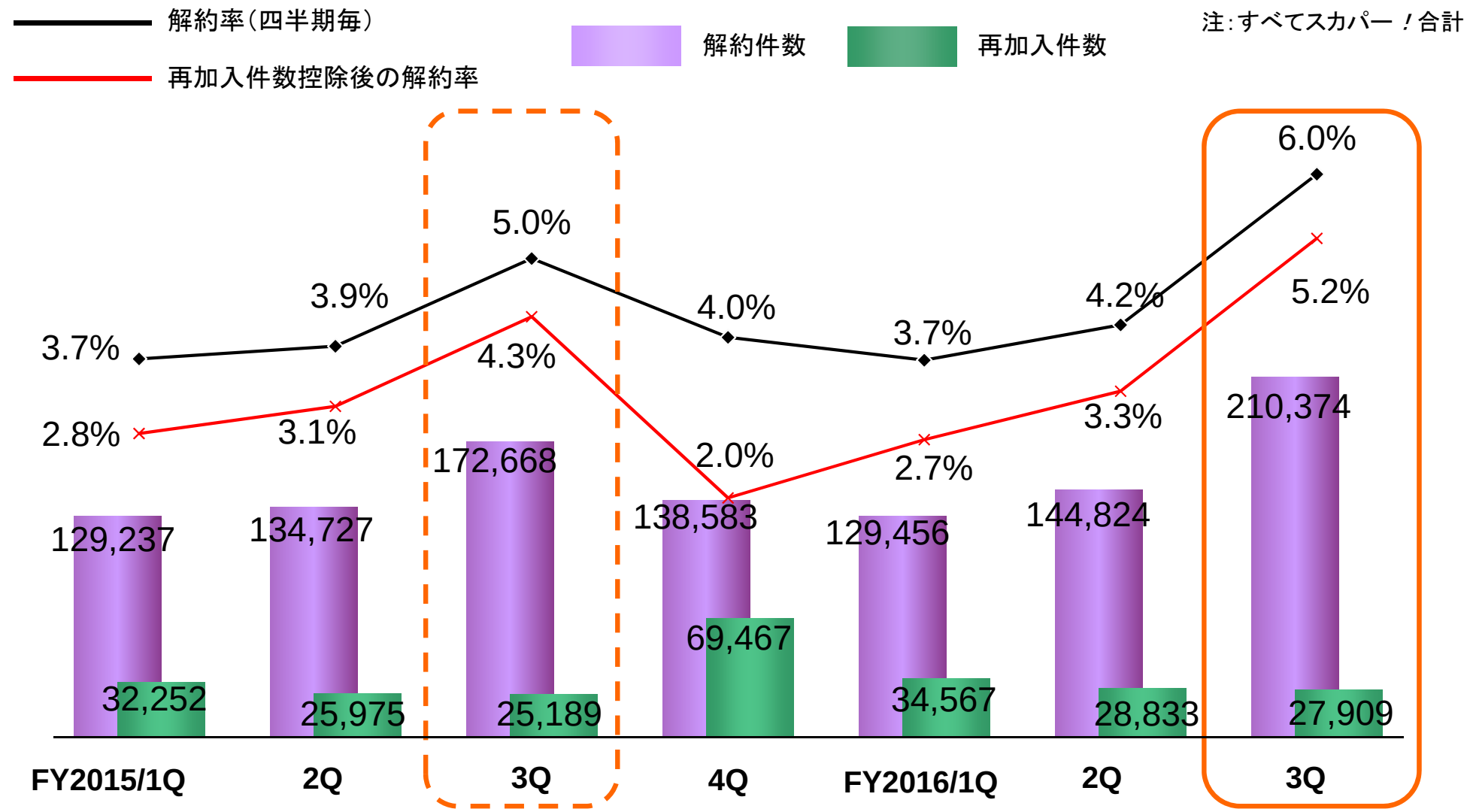
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位: 千件)

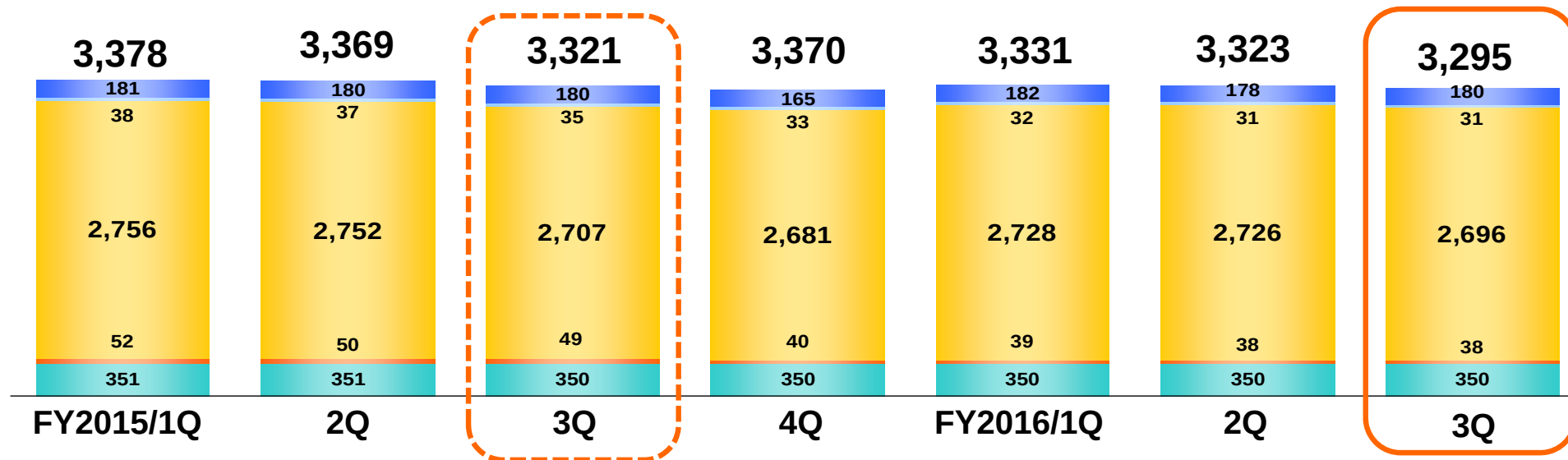


解約率の推移

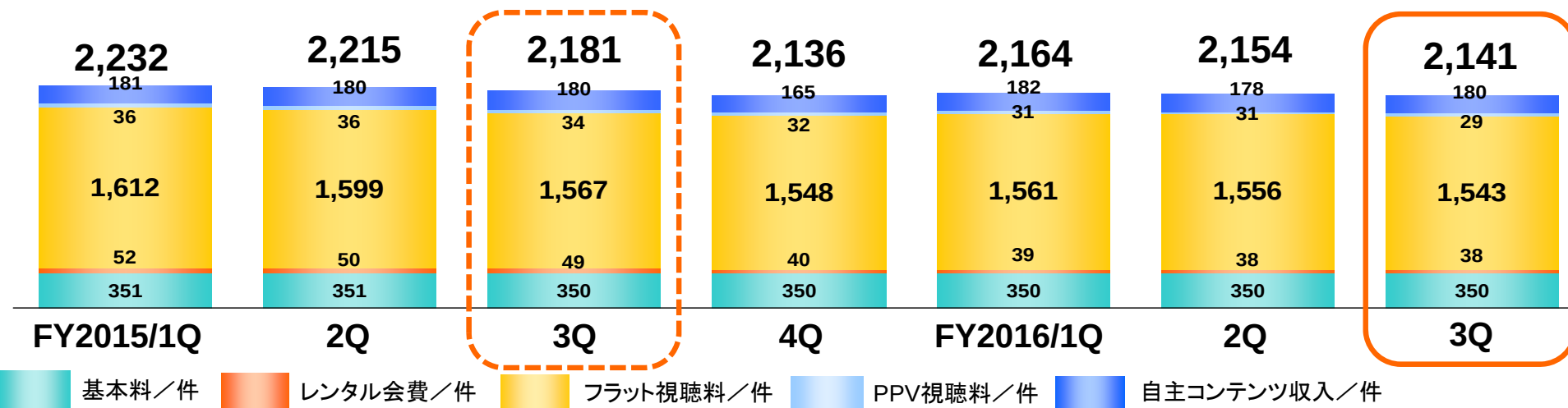


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)

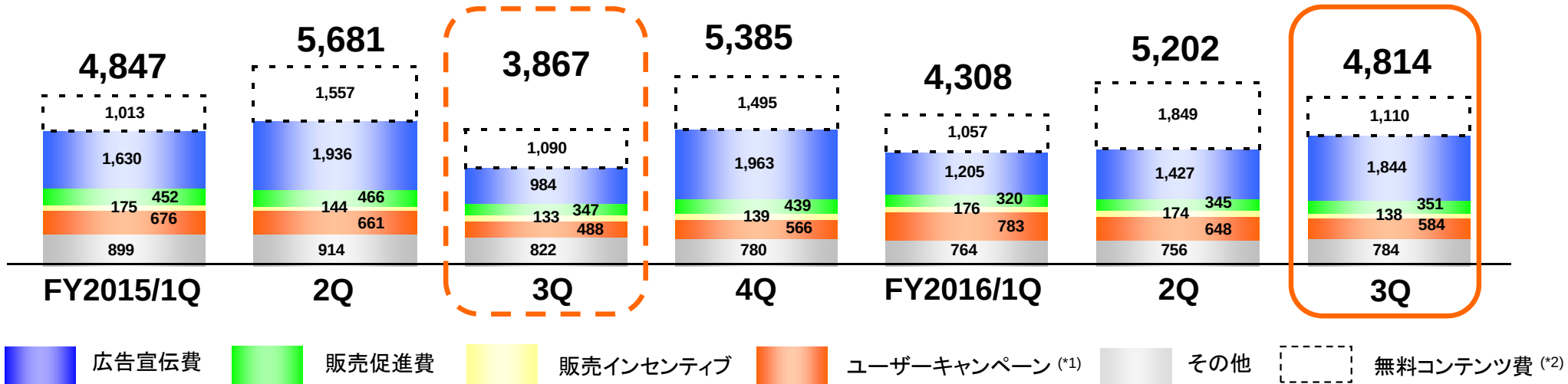


*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

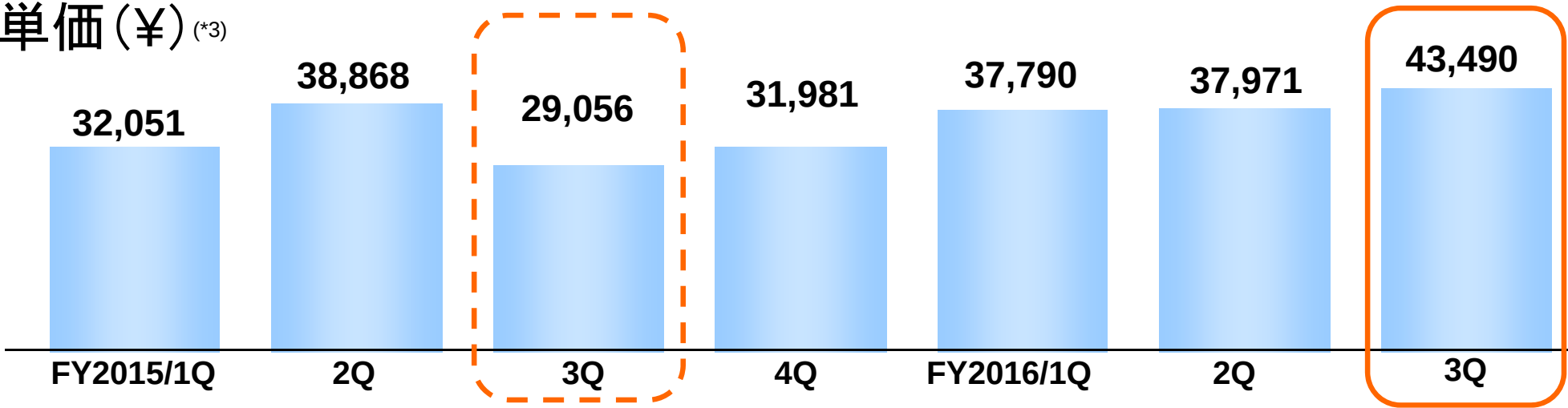
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用
*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。
*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部